

平成28年度

帯広の研究活動

研修部長 帯広市立大空小学校

校長 真下 正則

1 はじめに

帯広市校長会は小学校26校、中学校14校で構成している。基本方針や活動の重点に基づいて、全体としてまとめつつ、小学校長会、中学校長会に分かれて、具体的な活動に取り組んでいる。調査・研究活動を重視し、小中別に研究委員会を設け、実践的な積み上げを目指している。また、道小の研究計画を基に研究体制を整え、帯広の子ども一人一人の健やかな成長に責任をもつ職能団体としてその機能を果たしている。



2 研究計画

(1) 基本方針

本年度の帯広市校長会及び帯広市小学校長会の運営方針に基づき、今日的教育課題や当面する学校経営諸課題の解明と新しい時代の要請に応える学校経営の充実・発展に資するために校長としての専門的職能向上を図る研修に努める。

(2) 研究主題

「新たな知を拓き 人間性豊かな社会を築く日本人の育成を目指す小学校教育の推進」

～北の大地から世界を見つめ、新しい社会の形成に向けて挑戦する子どもを育む学校経営の推進～

(3) 研究の重点

- ① これからの学校教育の在り方を学校経営の視点から展望し、実践的に究明し、その成果を明らかにする。
- ② 各学校が抱える経営上の諸課題について交流を進め、解決策の具現化に努める。
- ③ 全連小高知大会・道小小樽大会とリンクさせ、先を見据えた共同研究体制を構築する。

(4) 研究内容と方法

内外の教育の動向をとらえ、今日的な課題の解決を図るとともに、地域に根ざした教育の在り方を探求する。4つの研究委員会を中心に毎月の定例校長会議において実践を交流し、研修を深める。小中合同の研究協議会の開催や紀要の発行を進める。

① 職能向上に関する研修

ア 学校経営委員会

- 教育改革に対応した校長のリーダーシップや組織マネジメント等、校長に求められる資質向上のための研修
 - ・ 学校経営ビジョンの策定と実現に関する研究
 - ・ 校内組織の活性化に関する研究
- ミドルリーダーや次代の学校経営を担う人材育成に関する研究

イ 教育課程委員会

- 社会を形成する力の育成を目指す教育課程の編成と校長の在り方

ウ 危機管理委員会

- 児童の問題行動の追跡調査と分析方法についての交流
- 安全安心な環境づくりと事故や事件の予防策，対応策についての交流
- いじめや不登校を生まない学校づくりの推進に関する研究
- 教職員の服務に関する対応策についての交流
- 不当要求や個人情報保護，情報公開への対応に関する研究

エ 教育課題委員会

- 健康な心身を育む食育，体育の推進に関する研究
- 環境を大切に作る心と実践力を育てる環境教育の推進に関する研究
- 一人一人の教育的ニーズ，自立や社会参加の実現への特別支援教育に関する研究
- 勤労観，職業観を育むキャリア教育の推進に関する研究

②学校経営基礎研修の開催

ア 目的

採用2年目までの校長と本市へ校長として初めて転入された校長を対象に，帯広市の学校経営の進め方等について学び交流し，職能向上を図る。

イ 概要

- 年間2回実施（7月，12月）
- 講話（先輩校長から学校経営の要点について話を聞く）
- 交流（課題について実態を持ち寄り，考え方等を交流する）

③学校経営研究協議会の開催

ア 目的

校長としての職能向上や学校教育の改善，充実に資するため，今日的教育課題や学校経営の在り方について研修を深める。

イ 概要

- 平成28年11月24日（木）小中研究委員会の研究成果を発表後，グループ協議
- 協議内容
 - ・小学校教育課題委員会
社会の変化に対応した教育を推進する校長の在り方
 - ・中学校学校経営委員会
地域連携による新しい時代の学校づくり
- 講演
 - ・講演題「学校改革の現場から…」 ～学校力・教師力を考える～
 - ・講師 北海道教育庁十勝教育局長 竹林 亨 氏
 - ・内容 「学校改善の視点 ～ 学力・学習状況調査を『教員育成』の突破口として」

④研究紀要「教育新潮」の発行（3月予定）

3 おわりに

帯広市小学校長会では，全連小・道小との研究の関連性を考えた研究委員会組織で，学校運営上の今日的な課題に正対し，本市の教育振興に寄与するという目的のために校長としての自己研鑽と組織力の向上を目指し，引き続き研修に邁進したい。